

2021年12月
(2月5日 更新)

2022年度入学試験合格者の皆さんへ

名古屋芸術大学 教育学部
学部長 溝口 哲夫

教育学部子ども学科に合格された皆さん、誠におめでとうございます。教職員一同ならびに在学生一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、合格されて大学における学びが日々近づいてくる今、皆さんは一日一日をどのような想いでお過ごしでしょうか？ 子どもたちに寄り添い、子どもたちの成長を支える立場を目指す方や、子育て中の保護者の良き相談者を目指す方など、さまざまな形で子どもたちと接することができる社会人になれることに夢を膨らませていることでしょうか。

私たち教育学部の教員一同、そうした皆さんの夢を叶えることができるよう、精一杯努力して参ります。

ところで皆さんは、本学教育学部の学びの内容はどのようなものであろう…と期待とともに不安も抱かれているのではないのでしょうか？

教育学部における学びとは、皆さんがこれまでに触れたことのない内容がたくさんありますが、それらの多くは私たちの日常生活と密接にかかわっています。皆さんがこれまで経験してきた学びや体験、そしてこれまでの生活などを交えながら子どもたちへの理解や新しい知識・思考、スキル等を身に付けていくのが教育学部の学びなのです。

このため、皆さんは本学に入学後、これまでに蓄えた知識や経験をスムーズに引き出し、教育学部における学びの理解をより深めるためにも、入学前に以下の4つの課題に取り組まれることを強く推奨いたします。

課題1： 本を2冊読み、概要と感想を書く。

課題2： 教育・保育・子どもに関係する新聞記事やウェブニュース記事をスクラップしてまとめる。

課題3： 子どもと共に楽しめる活動を発表する。

課題4： 「春を呼ぶ芸術フェスティバル」に参加する。

裏面の説明をよく読み、入学までの期間に課題に取り組んでください。

※ これらの課題は、皆さんが教育学部の学びを通じて目指す将来の道に通じる楽しい学びへの入り口となるものであると考え、前向きに取り組むようにしてください。

それでは、入学式で皆さんにお目にかかることを教員一同、楽しみにしています。

【お問い合わせ先】

名古屋芸術大学
教育学部子ども学科
E-Mail : nua-edu+pre@nua.ac.jp

課題1～3は、入学後の「子ども学総論」という授業の中で、皆さん一人一人に報告、発表を
してもらう予定です。入学までの期間を利用して、じっくりと課題に向かってみてください。

《課題1》本を2冊読み、概要と感想を書く

大学の学びにおいて、関係する書籍を読み込むことは必要不可欠です。

次の手順に従って本を読み、レポートを作成してください。

1 書籍を選択する。

単行本（漫画等の娯楽書籍は除く）を「A」「B」各1冊ずつ選んで読む。

「A」… 保育・教育に関する書籍（絵本・児童書も可） 1冊

「B」… ジャンルを問わず興味をもった単行本 1冊

2 それらの書籍を読んだ後、概要と感想をまとめる

それぞれ概要と感想を合わせて、以下の注意点に留意して800字以上にまとめてください。

<注意点>

※市販の原稿用紙に手書き記入、または、パソコンで入力作成 いずれでも可

※冒頭に「書籍名」「本人氏名」。また末尾に「本の著者名」「出版社名」および「発行年月日」を明記する。

3 提出は、入学後のオリエンテーション時です。入学後に指示されますので、その指示に従ってください。

《課題2》教育・保育・子どもに関係する新聞記事をスクラップし感想を書く

学校教育や保育の現場では一貫した制度を目指しつつも、現実では社会の影響を受け、教育現場も臨機に應對していくことが求められます。このため皆さんは、そうした社会の動向に敏感でいなければなりません。社会の動向を的確に把握するには、新聞やウェブに毎日掲載される記事に目を通すことを習慣とすることが大切です。

そこで新聞記事やウェブニュース記事を読み、以下の手順でまとめてください。

1 A4判のノート、またはスクラップ・ブックを用意する。

2 教育・保育・子どもに関係する記事を5つ以上選ぶ。

3 記事を切り抜き、ノートの1ページごとに記事を貼り付ける（紙面が大きい場合は折り畳んでも可）。

4 貼り付けた記事の下に、新聞名（出典名）、発行年月日を記載のうえ、その記事やニュースについての感想を書いてください（100文字以上）。

5 提出は、入学後のオリエンテーション時です。入学後に指示されますので、その指示に従ってください。

《課題3》子ども（小学生または3歳以上の幼児）と共に楽しめる活動を発表する

入学後の授業において、1人5分程度で発表してもらいます。皆さん一人一人の個性が表れる発表内容を期待します。

以下から1つ選んで、入学までの間に練習しておいてください。

- ・ 弾き歌い（ピアノ・オルガンなど）・楽器演奏・独唱
- ・ 絵本・紙芝居の読み聞かせ
- ・ 手を使った遊び（手遊び・指遊び等）
- ・ 制作したもの（粘土・折り紙・切り紙・絵画他）
- ・ 体操・ダンス
- ・ その他、自分で工夫したもの

《課題4》「春を呼ぶフェスティバル」の視聴（2022.2.5 更新）

1月30日（日）本学東キャンパス3号館音楽ホールで、人間発達学部主催による恒例の「春を呼ぶ芸術フェスティバル」を開催しました。昨年以上の16組の出演となり、外部の方を招かず、内部のみの聴衆で実施されました。溝口哲夫学部長のあいさつで開会し、学生によるピアノ演奏、フルート独奏、ソプラノ独唱、エレクトーン演奏が行われました。

演奏後はいずれの学生も、達成感から充実した表情を見せていました。

教育学部入学予定の高校生の方には期間を定めますが、YouTube限定配信で見られるように設定しました。将来保育・教育者を目指す人間発達学部学生たちの熱演を聴いてください。

【春を呼ぶ芸術フェスティバル映像】（視聴期間：4月中頃まで）

（Ⅰ部）

<https://youtu.be/Dyp3ctWlmZY>

（Ⅱ部）

<https://youtu.be/2xPrYYH17Qk>

なお、当イベントでは、例年、学部在学生在が日頃の練習成果を発揮して、地域の幼児や小学生及びその保護者にも芸術の楽しみを味わってもらえるように工夫したパフォーマンスで音楽活動を披露しています。新入生の皆さんにも、芸術大学の中にある教育学部の良さを知ってもらえる機会になります。

※個人情報保護の観点から、本URLの管理をはじめとする画像の取り扱いには十分ご配慮いただき、転載・複製・転用等はしないで下さい。